

防疫協定で卵を埋却処分

建協加治木支部が協力

畜産業の安心に貢献



山口県長門市の種鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生した問題に関連し、県建設業協会加治木支部（木山裕継支部長）は2014年12月30日、県との防疫協定に基づき始良地域のふ化農場が導入した有精卵約3万個の埋却処分に協力。迅速な対応により地域畜産業の安心・安全に貢献した。

山口県の種鶏場では死んだ鳥から29日に陽性反応を確認、30日に農林水産省からの連絡を受け、県は建設加治木支部へ協力を要請。会員の末重建設（末重堅司社長）より人員3人および0.7㎡バックホウが出動した。同日は午後2時ごろ現地入りし、始良家畜保健衛生所の職員らとともに作業を開始。バックホウを使って縦4m、横4m、深さ3mの穴を掘り、石灰を何重にもまきながら嚴重に埋却処分。午後7時30分までに作業を終えた。

霧島市・上野原縄文の森駅伝大会
申し込みは31日まで
第24回霧島市・上野原縄文の森駅伝大会は3月8日、同市の上野原縄文の森祭りの広場で開催される。申し込みは、1月31日まで。
コースは、同森の周囲コース。種目はジョギングの部が中学生以下2・4km、一般（高校生以上）4・8km、駅伝の部が一般男子（7区）、一般女子・混成・中学男女エリート（同）、小学男女（8区）となっている。
問い合わせは、大会事務局（同市教育委員会保健体育課内）0995・45・5111、内線5095）まで。

2015年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。
昨年末に第3次安倍内閣が成立し、引き続き国土交通大臣を拝命いたしました。本年も皆様のますますのご支援・ご協力をお願いいたします。



また、東日本大震災については、今なお約23万人の方々が避難生活が続けておられます。東日本大震災の被災地も含め、被災地の皆様へ、1日も早く安全・安心な暮らしを取り戻して頂けるよう、引き続き総力を挙げて取り組んでまいります。

そのため、防災・減災、老朽化対策、メンテナンス、耐震化を公共事業のメインストーリーに位置づけ、「一命を守る公共事業」を進めてまいります。現場力こそが日本の

底力です。「技術立国・日本」「人材立国・日本」の強みを維持していくことが、これからの日本の成長の鍵を握っています。一昨年、16年ぶりに公共工事の労務単価を引き上げ、

「これだけ草が生えていては子供たちも中まで入って遊ぶことはできなかったろう。正月前にきれいに刈り取ることで、公園を訪れる家族連れに気持ち良く過ごしていただきたい」と話した。



県電気工組青年部協

県電気工事業工業組合青年部協議会（中島啓介会長）は12月19日、鹿児島市の県社会福祉協議会（仮屋基美会長）を訪れ、さつま町社会福祉協議会（上園一行会長）に車いすを贈呈した＝写真＝。

贈呈式では、中島会長が「この車いす寄贈は多くの先輩が続けてきた。地域住民の笑顔と安心に役立ててほしい」と仮屋会長に目録を贈り、上園会長に車いす1台を進呈した。

これを受けて上園会長は「高齢者への無料貸し出しや小学校での総合学習など有効に使いたい」と感謝を述べた。

また、1994年から毎年行っている車いす寄贈活動に対し、仮屋会長は「約40台もの車いすを県内に贈答するなど、幅広い福祉貢献に感謝したい」と述べ、感謝状を贈りその功績をたたえた。

中村建設、伊勢産業土木

奄美市の㈱中村建設（尾崎英哉社長）と㈱伊勢産業土木（伊勢明一社長）は12月22日、同市の長浜みなと公園で雑草伐採等のボランティア活動を実施した＝写真＝。同公園が両社屋に隣接している

地域貢献活動

ことから、年2回行っている恒例作業。参加した社員は半年で胸まで伸びた雑草を草刈り機で次々に刈り取った。今回は県大島支庁との打ち合わせにより遊具施設周辺を中心に作業を進め、丸一日かけ集めた草は2tダンプ8台、軽トラ1台分にのぼった。日暮れのため運搬作業は翌23日に行った。



参加した社員は「これだけ草が生えていては子供たちも中まで入って遊ぶことはできなかったろう。正月前にきれいに刈り取ることで、公園を訪れる家族連れに気持ち良く過ごしていただきたい」と話した。

松原建設がんばロード隊

㈱松原建設（松原清一社長、肝付町）の社員で構成する「松原建設がんばロード隊」は12月27日、ふるさとの道サポート推進事業の一環で、同町内の県道永吉高山線（900m）で恒例の奉仕作業を実施した＝写真＝。

同社に集合した参加者30人を前に、松原社長が「年末年始に帰省する人や観光等が気持ちよく過ごせるように、感謝の気持ちを込め

てみんなの手できれいにしよう」と挨拶。参加者は、県道永吉高山線沿道の草刈りやごみ拾いなどに取り組んだ。



参加者は「毎年恒例となった活動も6年目。地域への感謝を含め、今後も続けていきたい」と話した。

田川組総務部チョコボラ

㈱田川組（近藤友征社長）のボランティア組織・田川組総務部チョコボラは12月13日、南九州市の知覧平和公園近くの花壇に葉ボタンなどの花を植樹した＝写真＝。



活動には、社員3人が参加。県道類娃川辺線沿いの花壇（2m×6m）を管理機で耕したあと、パンジーや葉ボタンなどの花を一日かけて植樹した。

窪園貴志総務部長は「花壇がきれいに生まれ変わってよかった。

観光客やドライバーからも喜ぶと思う」と語った。

本山機動

本山機動㈱（本山大社長、湧水町）は12月27日、同町の勝栗神社で毎年恒例の清掃ボランティア作業を実施し＝写真＝、関係者から喜ばれた。

奉仕作業は、新年の初詣客を気持ちよく迎えようと、10年以上前から行っている。



同日も早朝より社員らが集合。ホイルローダーなど重機も導入し、境内の樹木の枝払い、落ち葉の収集など熱心に作業に取り組んでいた。

本山社長は「由緒ある神社で参拝客も多い。地域の企業として今後も継続していきたい」と話した。正月を迎える準備を行っていた蜂須賀公教官司は「われわれだけでは手が行き届かない。毎年作業をしてもらい、本当にありがたい」と感謝していた。

情報はこちらへ
本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道編集部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。E-mail:hensyu@po.kc-news.co.jp